



桃二

— 学校便り —

<桃二小ホームページ> <http://nk-momo2-e.a.la9.jp/>

- ◎ 考える子
- 思いやりのある子
- 元気な子



～開校99周年～
令和2年11月2日(月)
No.8(11月号)
中野区立桃園第二小学校
校長 山崎 義弘

「できた！ わかった！」の実感から、 「やってよかった！ またやりたい！」の自信へ

副校長 田所 貴美子

運動会当日、ある6年生と話した際、このあと行う、表現運動とリレーに向けて、強い意欲を感じました。6年生は、9月から放課後に残って校庭でダンスを作ったり、走る練習をしたりしていました。運動会に向けて、友達と協力しながら、すすんで前向きに、夢をもって取り組んできたからこそ、その熱い思いがあふれ出てきたのだと思います。まさに、「学校行事で育つ力」が達成されているところを目の当たりにできた瞬間でした。

運動会のような活動を「学校行事」と言います。学校行事は授業です。国語や算数などの教科と同じように、学習を通して高める力があります。学校行事では、「協力すること」つまり「人間関係を形成する力」、「すすんで前向きに行くこと」つまり「社会に参画する力」、「夢をもって取り組むこと」つまり「自己実現する力」をそれぞれ高めることを目指します。一生懸命取り組んで、「できた！わかった！」という実感が、「やってよかった！」という達成感となり、自分への自信につながります。この自信が「またやりたい！」という未来への希望を生み出す原動力となります。学校行事は、未来をたくましく生きていく力を育む場なのです。

校庭で力いっぱい表現やリレーに参加していたその6年生の姿を見て、一人ひとりの児童の成長を感じ、嬉しく思いました。

今回の運動会では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2回に分けた分散実施、学年ごとの入れ替え制の観覧など、保護者の皆様には、多大なご理解とご協力をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。PTAの役員やボランティアの皆様には、受付やパトロールなど様々にご協力いただきました。各町会からは今年もテントをお借りしました。地域の皆様やおやじの会の皆様にも大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

本校では、全教育活動で、どの子ども「できた・わかった」の実感が得られるよう、授業や学習環境を工夫することを、全教職員がいつも目指しています。私たちはこれらの工夫を「桃二 ユニバーサルデザイン」と呼んでいます。桃二の授業や教室には、児童が安心して気持ちよく学習し、学校生活を送ることができるように、教職員が真剣に考え合い、取り組んできた工夫がたくさんあります。この工夫は、一見、当たり前で普通のことのように見えます。「本当の優しさは、人に気付かれないようにする」と言った「佐賀のがばいばあちゃん」(島田洋七 徳間文庫)のようなものかもしれません。11月13日には2年間にわたるこの「桃二 ユニバーサルデザイン」の実践をまとめ、区内の幼・小・中学校に紹介する研究発表会を行います。どの子ども「わかった・できた」が実感できる教育活動を、今後も続けてまいります。

◎今月の生活目標「物を大切にしよう」

生活指導主任

物を丁寧に扱い、大切に使い続けるなどの心遣いができるということは、人に対しても優しい心遣いができ、思いやりをもって接することにつながります。

学用品や衣類に名前を付けることで、その物を自分の物として意識して大事に使えます。また、どこかに忘れても、持ち主に返すこともできます。この機会に、鉛筆や消しゴム等の学用品や衣類等に名前があるか、ご家庭でも確認をお願いします。

また、自分の物と同様に、学校や学級の物や友達の持ち物も落ちていたら拾う、片付けるなど、物を大切にしている指導もしていきます。

11月の予定

1	日	
2	月	脊柱側湾健診（5年）
3	火	文化の日
4	水	ALT(2-1 34)
5	木	ALT(56)
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	あんぜんデー
10	火	ALT(56)
11	水	ALT(2-2 34)土曜時程 13:30 下校
12	木	ALT(56) 5時間授業
13	金	中野区教育委員会 研究指定校 研究発表会
14	土	土曜授業 音楽鑑賞教室（1234年） セーフティ教室（全）
15	日	
16	月	音楽鑑賞教室（56年）⑤⑥
17	火	ALT(56) ブラインドサッカー（4年）
18	水	ALT(1-1 34) 4時間授業 避難訓練 なわとび教室（1年）体育朝会
19	木	ALT(56) 元気アップ（12年）
20	金	
21	土	
22	日	
23	月	勤労感謝の日
24	火	ALT(56) 命の授業（5年）
25	水	ALT(1-2 34)クラブ活動
26	木	ALT(56)
27	金	
28	土	土曜授業（公開） 子どものための伝統文化・芸能体験 （6年） 清掃事務所出前授業（4年）
29	日	
30	月	委員会活動⑧
12/1	火	
2	水	家庭学習推進旬間（始）
3	木	ALT(56)
4	金	

1年生引き渡し訓練

10月3日（土）に1年生の引き渡し訓練を実施しました。今年度は密を避けるため訓練をしていない1年生のみで行いました。いつ大きな地震に遭遇しても落ち着いて行動できるように、毎年訓練を実施しています。多くの保護者の方々にご参加していただきました。ありがとうございました。



当日は暑かったものの、1年生は呼名されるまで、静かに並び、待つことができました。



担任が引き渡した後も、落ち着いた様子で下校する姿が見られました。

もみじ読書月間

図書担当

桃二小では、毎年11月に「もみじ読書月間」を設け、子どもたちが読書に親しめるようにしています。この期間には、全校で朝読書を実施する他、図書ボランティアの皆さんによるパネルシアターなどいろいろな活動を行います。図書委員会では、「図書ビンゴ」「おすすめの本紹介」「オンライン図書集会」の活動を予定しています。

また、「親子読書」のカードを配布し、親子で同じ本を読んで感想を交流し合う時間をもっていただけるようにしました。秋の夜長、ご家族で読書に親しんでください。

運動会

11月24日(土)、26日(月)

先日は、運動会にご参観くださいましてありがとうございました。今年の運動会は、感染症拡大防止対策のため、2・3・4年生と1・5・6年生と二日間に分けて行いました。今年のスローガンは「Unite 桃二!! はなれていても心は一つ」でした。学年が離れていても運動会という一つの行事を通して団結しよう!という思いのもと、計画委員会が中心になって考えました。それぞれの学年の練習や全校練習、係活動を通して、全児童が運動会に向けてひたむきに頑張り、その成果をいかんなく発揮しようとする姿はとても輝いていました。運動会は、今年度、全学級が一つの学校行事を行う数少ない機会でした。このような中、多くの方のご支援、ご協力が無事に運動会が実施できたことを、感謝いたします。

6年生

5年生



高学年リレー

Unite 桃二!! はなれていても心は一つ

4年生

3年生



中学年リレー

2年生

1年生



係活動



三密を避けながら開閉会式や応援合戦を行い、運動会の雰囲気盛りあげました。それぞれの学年では短距離走と表現運動を行いました。加えて、中学年と高学年の代表児童による選抜リレーを行いました。一つ一つの運動、活動の中に子どもたちの成長を実感しました!

交通安全教室

9月29日に中野警察署の方をお迎えしてリモートでの全校交通安全教室、4年自転車走行安全指導を行いました。リモートでの学習は、初めての試みで1つの教室に各クラスの代表が集まり、講演を実際に聴いたり、映像を見たりしている様子を各教室でリアルタイムで見ました。

自転車は、「何の乗り物の仲間か？」の問いに低学年児童から「くるまかな？」という答えが返ってきました。そこから自転車は、どこを走れば良いのかをじっくり考えました。また、自転車に乗ったり、歩行したりしている際に車からは、どう見えているのかを実際に映像で確認しました。子どもたちは、車の運転者からは全てが見えないことを知り、驚いていました。その他、天候の悪い日の自転車の乗り方を考えたり、標識の見方を学んだりしました。

自転車走行安全指導では、4年生が、個々に持参した自転車を点検した後、校庭に作られた曲がり角やくねり道、はしごを使ったでこぼこ道を走る等の練習を行い安全に乗ろうとする意識を高めることができました。



2年生 まちたんけん

2年生が学区域をたんけんしました。「自分たちのまちをもっと好きになるために」はどうすれば良いのか子どもたちが話し合い、「まちについてもっと色々なことを知りたい」と、「まちたんけん」を計画しました。

まちたんけんを行うことで、「クリーニング屋さんが多い」「動物専用の美容院があった」など様々な発見がありました。「大きな看板のおかげでここにあることが分かるんだね」と知っている場所の中に隠れたの工夫を発見していました。まちたんけんを通して自分たちのまちをもっと知りたい、と言っている子どもが多く、まちたんけんは大成功でした。まちたんけんが実現・成功したのは保護者の皆様のご理解とご協力があったからこそです。誠に感謝しております。これからも子どもたちの体験的な学習にご協力して頂けると幸いです。

次の生活科の学習では、まちたんけんの学習で生まれた疑問を施設やお店にインタビューすることを計画しています。「自分たちのまちをもっと好きになるために」を合い言葉に今後も学習を続けていきます。

